

陸屋根専用

置き基礎架台



ポイント1

耐久性抜群！

ポイント2

穴を開けない

ポイント3

金具の種類は4つ

ポイント4

見た目すっきり

ポイント5

強度計算を実施

詳しくは裏面！



・ポイント 1 耐久性抜群！

数十年運用することになる太陽光発電。パネルは大丈夫でも金具が先に劣化してしまうと後々のメンテナンスが大変なことに。架台で使われる材質にはアルミ、ZAM、亜鉛メッキなどがありますが、この金具はボルトも含め全てステンレス製（SUS304）、国内生産。サビに強く、熱膨張も少なく、耐久性に優れています。

・ポイント 2 穴を開けない

穴を開けて固定する工法の場合、その穴が原因で雨漏りが発生することがあります。この工法はブロックの重みでパネルを動かないようにするため穴を開ける必要はなく、パネル 1 枚からでも設置可能です。また、ボンドなども使用しないため、設置後に防水層の補修工事などが必要となった場合でも、パネルを一時的に撤去し再設置することが出来ます。

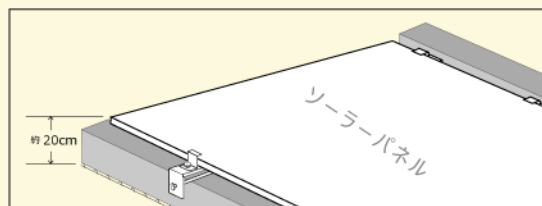
・ポイント 3 金具の種類は4つ

使用する金具は、上金具、下金具、押え金具、接続金具の4種類だけ。さらに汎用性が高く、現在流通しているほとんどのパネルで使用できます。そのため、取り付けが簡単で施工ミスが起こりにくく、工期も短く出来ます。



・ポイント 4 見た目すっきり

他社架台はパネル位置が屋根面から高くなりがちですが、この工法のパネルの最大高さは屋根面からわずか20cm程と見た目すっきり。地上から見上げたときに設置しているパネルが見えないので、景観条例が定められている地域でも設置が可能です。



・ポイント 5 強度計算[※]を実施

この工法は風の影響を受けにくい構造となっていますが、台風などでパネルが飛散しないか否かを設置場所や建物の高さ等の情報から案件ごとに強度計算を実施し、安全性を確認した上で販売いたします。

※太陽電池アレイ用支持物の設計用荷重算出方法（JIS C 8955）に則って計算を行います。
完全な安全を保証するものではありません。

